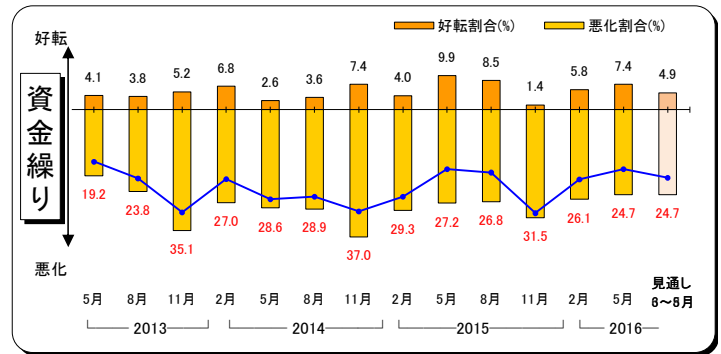
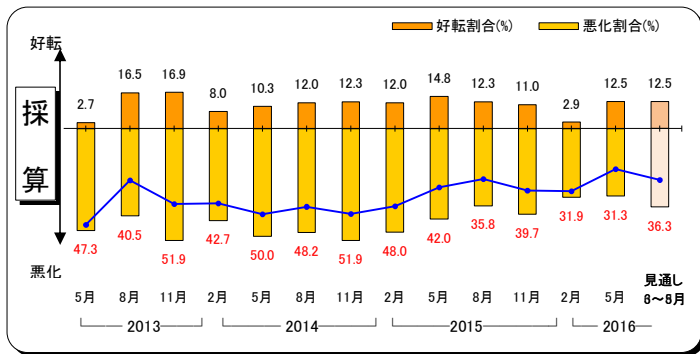
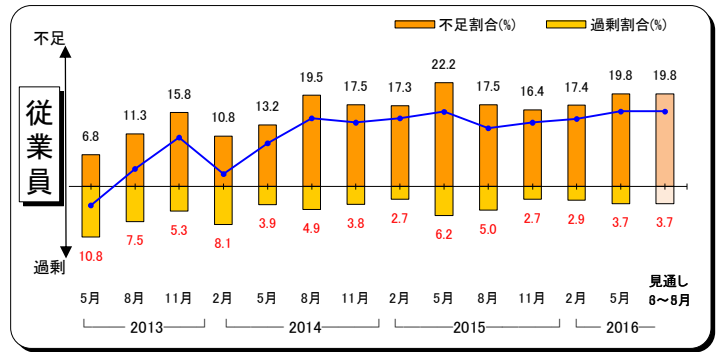
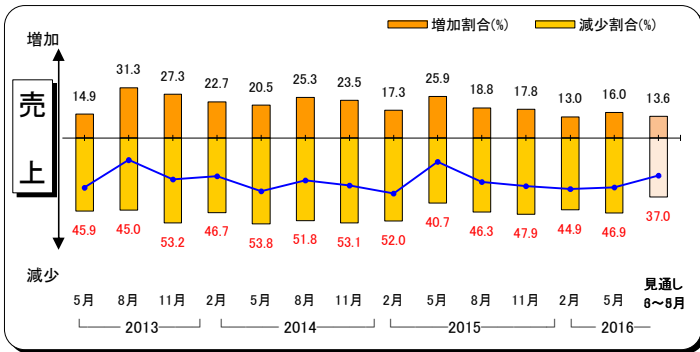
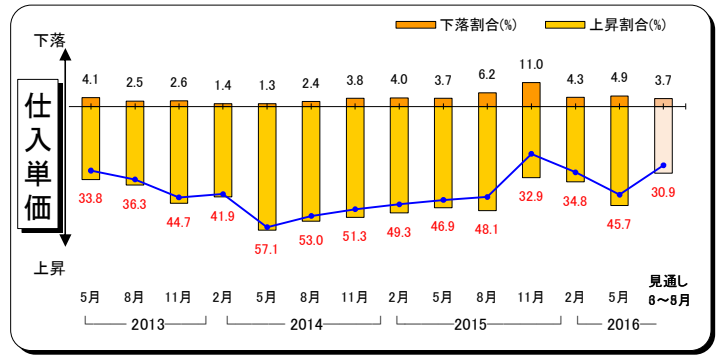
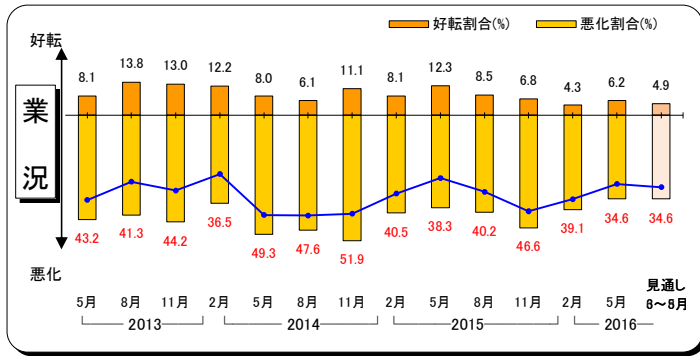


【小売業】①



【小売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

男子服小売業	消費者の購買意欲が弱く、その上消費税が8%になってからは、人の出が減り続き、景気はどんどん悪くなっていると感じます。 今後、消費税が10%になれば、ますます中小の小売店は立ち行かなくなるかと心配です。
靴小売業	販売単価アップにチャレンジしたが失敗した。仕入価格は円高の為、抑えられた。雇用はいつも人手不足です。
食肉小売業	大手安売りチェーン店との安売り合戦になっています。年齢の高齢化によって消費が伸びません。
自動車（新車）小売業	地震の影響により、生産が遅れて在庫が足りていない。
中古自動車小売業	若者の車離れ。マイナス金利による影響。税問題。保険料。
電気機械器具小売業	売上減少、大変厳しい。
医薬品小売業	アベノミクスの成果は、株価の上昇と円安に振れたことだけで、ここへ来て再びデフレに戻ったような気がします。 世界中の景気が良くならない中で賃金の上昇は、一部の大企業だけで中小企業は賃金を上げるどころでは無い状況です。
医薬品小売業	調剤報酬改定の度に大変になっている。
調剤薬局	今後厳しさを増す一方の薬業界です。特に個店での店頭販売は商品が売れなくなってしまった。
燃料小売業	本年度エネルギー価格（原油、LPG）は上下しながら上昇気味で、過剰設備（含流通段階）の下での過当競争で末端ユーザーへの転嫁は困難を極める年となりそうだ。 加えて石油業界は2強時代を目前に、有力流通業者はこの1年が勢力分布を決める最後のチャンスと捉え、無理な拡張に走り出している。 石油業界は誰がいくら損していくら勢力伸長を計ったかという時機に入り、LPG業界も新電力販売と抱き合わせで消費者の争奪をする動きが目立ってきた。 まさに強い者勝ちの世界の現出である。末端ユーザーの仕事が増えたという話は聞かないので、世間全体の実需は足踏み停滞では無いかと思われる。
百貨店・総合スーパー	募集を出しても人手が集まらない。
加工食品小売業	中心市街地でもシャッター街化しているので、自社製品の卸販売を増やしました。
書籍・雑誌小売業	見積り案件が増え、価格競争が激化している為、利益率が下がっている。
スポーツ用品小売業	個人消費の回復感無く、苦戦中です。近場で1件廃業があり、同業者間では頑張らないと淘汰されてしまうと危機感を募らせています。 ダブル選挙が取り沙汰されていますが、違う事にその費用を充ててもらいたいです。消費税も増税は延期してもらいたいです。